



大阪支部だより



関西ブロック クリスマス祝会



2013年12月7日(土)、大阪東十三教会にて関西ブロックのクリスマス祝会が開催されました。今年は、5名の初参加の方や、最高齢100歳の河村信子さんから40代の方まで39名の同窓生と楽しい時間を過ごしました。

第1部はクリスマス礼拝で、斉藤成二牧師より「インマヌエルなできごと」というメッセージを頂きました。ご自身の日常の逸話を、笑いをまじえて紹介され、それらのことから「嫌なことすべてを取り除けば、ほんとうに幸せなのだろうか?」と問いかけられました。みなで讃美歌を歌い、お祈りをささげ、広島女学院生時代の日常であった礼拝のひとつときを、久しぶりに体験したという同窓生もおられました。

第2部はティーパーティでした。参加者一人ひとりのお名前を呼んでの紹介の後は、サンドイッチや手作りケーキ、定番となったフルーツポンチをいただきながら会話が弾み、賑やかに会は進みました。東京オリンピックが決定したことになんで、スポーツ関連のクイズやゲームもあり、盛り上がりました。

また、兵庫支部の篠原悦子さん(高4)には、アメリカ・オレゴン州で開かれた原爆追悼の祈念会に参加された旅のお話をしていただきました。この祈念会は、篠原さんの同級生で、アメリカで反核・反戦の運動を続けてこられた田村秀子さん(高4)が所属するローグバレー平和合唱団が、7年前に来日公演して以来、毎年開かれているそうです。たくさんの現地でのお写真などを紹介していただき、心温まる交流のようすや、国境を越えての反核・反戦の思いが伝わってきました。

ロビーでは、例年通りミニバザーも開かれ、手作りの品や各家庭から持ち寄ったものなどから掘出し物を見つけることもできました。ご協力いただいた方々、ありがとうございました。



↑バザー...何を买おうか迷いますね



↑篠原さんのお話写真も美しく、大きな刺激を受けました



←おいしいものを前に、笑顔もこぼれ...世代を超えて談笑

篠原さんのお話の中で、田村秀子さんの活動の一つである英語の絵本『平和の木に花が咲く時』を紹介していただきました。

“昭和の戦火を生き延びて、平和の道を探したお爺ちゃんとお婆ちゃんのお話です。子供を震え上がらせる挿絵は皆無ですが、戦火、焼け野原、放射能の苦しみ、隣人愛で結ばれる平和の木の種、等々私達が本当に経験した事も描写されています。”

(田村さん 談)



田村さんがお話を書かれた絵本

“When a Peace Tree Blooms”→

